荒川区立南千住第二幼稚園

平成30年４月２７日

荒川区立南千住第二幼稚園

園長　　立石　晃子

5月 園だより

ホームページ　http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/ youchien/ minamisenju2

緑・花に囲まれた汐入地区

園 長　立 石 晃 子

入園、進級から１か月が経ちます。毎朝園門に立ち、一人一人のお子様と挨拶とタッチを交わしていますが、日に日に、タッチの音が「パン！」といい音がなるようになりました。子供たちがだんだんと幼稚園生活に慣れ、楽しみに登園してくるようになった心持ちが、「パン！」につながっているように感じられます。

保育室を覗くと、ちょうちょの台紙にシールを貼り、出来上がった自分のちょうちょをもって遊ぶ年少児、園庭で担任の引いた線路をもとに友達と電車ごっこをする年中児、友達と力を合わせてうさぎのココアとバニラの世話をする年長児と、一つ大きくなったことの嬉しさや期待感が子供たちの意欲や心の成長を後押ししているようでした。特に年長児は、幼稚園の中で一番大きいお兄さん、お姉さんとなり、うさぎのココアとバニラのお世話など係りの仕事や、年少児の身支度や帰りの支度のお手伝いを張り切って行っています。

お手伝いが終わると「今度は自分たちの好きなこと！」、と元気に外に飛び出していきます。南千住第二幼稚園の園庭と言えば「芝生」です。ようやく養生期間が終わり、シートの下から濃緑の芝生が顔を出しました。

「せんせい、きて！　ねころがるときもちいいよ！」

年長組の子供たちが私を芝生に誘ってくれました。春の暖かな日差しの下、子供たちは芝生に寝転がり、芝生の感触を、匂いを、存分に味わっていました。その気持ちよさといったら、東京の街でこんな素敵な自然に触れる体験ができ有難く、子供たちにとってもこの体験は一生思い出に残るものでしょう。

園内外にはグリーンクラブの方が手入れをしてくださった花々、園を一歩出た汐入地区は若葉の緑、ハナミズキやツツジに、汐入公園のタンポポ・・・と、春の自然に包まれていて、その間を通ると心が豊かになります。こうした気持ちになることができるのも、地域の方々が自然を慈しみ、大切にされているからこそ、と考えます。

５月４日は「みどりの日」です。「みどりの日」は「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心を育む」ことを趣旨とした日です。改めてご家庭で、汐入地区にも広がる豊かな自然を見つめ、その恩恵を感じ、心豊かになっていただきたいと思います。

区立南千住第二幼稚園グリーンクラブが第９回あらかわ「緑花」大賞を受賞しました。５月７日(月)にサンパール荒川にて表彰式が行われます。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

＜3 歳もも組・りんご組＞

せんせい、みてみて！一緒にやろう！　たのしいこといっぱい！

幼稚園生活が始まって３週間。初めは涙を見せる子や少し緊張している子もいましたが、少しずつ幼稚園の中に楽しいことを見つけ始めました。粘土をしながら「先生！見て！にょろにょろ（へび）できた！」と見せてくれたり、「先生、読んで！」と絵本や図鑑を持ってきたり、「うさぎさんにはっぱあげよう」と誘いにきたり・・・教師に親しみやつながりを感じながら、園が安心して過ごせる場所になってきているようです。みんなで一緒にする手遊びや体操、絵本等も楽しくなって、毎日楽しみに集まってきています。新しい歌や踊りもすぐに覚えて笑顔いっぱいで踊る姿や、覚えた歌を口ずさむ姿も見られて、毎日嬉しい驚きの連続です。

５月はいよいよお弁当が始まります。暖かい日差しの下でたくさん遊び、ますます幼稚園の楽しみが増えていくよう笑顔いっぱいで過ごしていきます。

＜4 歳たんぽぽ組＞

やりたいことたくさん！！みんなでいっぱい遊ぼうね！

入園、進級から１ヶ月が経ち、新入園児は少しずつ園生活の仕方や担任、友達の顔を覚え、笑顔が見られるようになってきました。また、進級児は自分のやりたい遊びを見つけて意欲的に遊び出す姿があちらこちらに見られます。子供たちの考える遊びやそれぞれの思いなどに触れる度、面白そう！よく頑張ってるね！さすがたんぽぽ組！と心を動かされる毎日です。

保育室では、回転寿司ごっこが始まりました。身近な素材でいろいろなお寿司を作ったり、お客さんが待つ椅子を並べたり、衝立で場を仕切ったりしながら、それぞれがもつイメージを膨らませて遊んでいます。

身近な自然にも興味をもってかかわる姿が増えてきました。戸外で遊ぶ気持ちよさを味わう中で、自然とのふれあいも大切にしていきます。

＜5 歳ばら組・ひまわり組＞

いろいろなことが楽しい！友達と一緒だともっと楽しいな！

年長組になって３週間が経ちました。新しい保育室での生活にも慣れ始め、うさぎのお世話やお花への水やりなどの係の仕事にグループの友達と協力して取り組む姿や、名札を自分で付けてみるなど、“ 年長さんにしかできないこと ” にそれぞれの子供たちが自分なりに頑張っています。

年少組の身支度のお手伝いでは、「何て声を掛けようかな。」「どこまでやってあげようかな。」と様子を伺いながら自分なりに考えて関わり、優しく教えてあげることができました。

年長組だけで都電に乗って出掛けた荒川遊園の遠足では、友達と一緒に乗り物に乗ったり、クジャクが大きく羽を広げて動く姿に大興奮したりして、楽しく過ごしました。

年長組として張り切る姿を嬉しく思います。しかし、まだまだ年長組になったばかり。学級でほっと落ち着ける時間を過ごしたりしながら、一人一人が力を発揮できるように援助していきます。